

# 令和元年度 卒業年次アンケート分析結果の報告

## 1. 学習面

### 【日本文化学科】

平成 30 年度の日本文化学科卒業年次アンケートでは、「日本文化学科での 4 年間の生活を総合的に満足できるものでしたか」という項目で 54%の学生が「とてもそう思う」と、32%の学生が、「そう思う」と回答しています。「学科での学びと生活について」の 8 項目中 5 項目で、90%以上の学生が「とてもそう思う」「そう思う」と回答しています。

以上の結果を受けて、学科として各教員が一人一人のニーズに合わせた指導を行うとともに、卒業生全員が総合的に満足できる 4 年間の教育内容、サポート体制を整えていきたいと考えています。

### 【国際文化学科】

全体的に見ると、国際文化学科での学びと生活に満足して卒業を迎えたことが分かるアンケート結果でした。今年度は国際文化学科が 27 年の歴史を閉じる年となります。4 年生の皆さんには、今までの先輩と同じように悔いのない最終学年を過ごして卒業していただきたいのですが、予想もしなかった世界的なパンデミックの影響で前期はインターネットを通じた遠隔授業が行われることになりました。この状況の中でも学べることはたくさんあります。最善を尽くして一緒に乗り越えていきましょう。

### 【人間関係学科】

人間関係学科(専攻)は、全教員が一人ひとりの学生に寄り添いながら、人間と社会における様々な問題に対して知識を活用しつつ的確に対応できる人間力を身につけることを目指しています。ゼミで選択できる社会学、心理学、哲学、芸術学などはそのための切り口です。学科(専攻)では専門ゼミの学問分野にとらわれることなく、社会に役立つコミュニケーション力や、幅広い実践力・実行力、豊かな人間性の育成を目指しています。人間関係学科(専攻)で積極的に学び、自信を持って社会に挑戦してください。

### 【心理学科】

学生の皆さん、アンケートに協力していただき、ありがとうございます。皆さんの意見を踏まえて、心理学科では専門科目をより充実させていくよう努力していきます。自由記述にあった点も含めて改善に取り組みますが、大学の授業は、各教員の専門性や個性を生かしていく面もありますので、必ずしもゼミが画一的に行われるわけではないことも理解してください。そういった特色も踏まえてのゼミ選びが大切です。大学教育は、私たち教員と学生の皆さんの主体的・積極的な参加によって成り立ちます。そうした中で、楽しく学んでいける心理学科(現在は心理学類)を築き上げていきたいと考えています。

### 【住空間デザイン学科】

毎年実施している住空間デザイン学科・学類のアンケート調査においても、学科の学びに対する多くの意見や提案がありました。特にパソコンやCADソフト等の使用状況について、また実習室を使用する実習系授業の自習対応について、さまざまな意見や提案があり、これらを受けてこれまでも数多くの改善や変更を行ってきました。今後もより学生の皆さんにとって使いやすい方法や内容を学科・学類教員同士で話し合い、引き続き改善の検討を行っていきます。

### 【メディア表現学科】

メディア表現学科は、実習科目あるいは実習を伴う講義科目が多く、また少人数でのクラス編成になることがあるため、その授業活動の中で友人関係が良好になったり、新たに友人ができたりすることが多くあります。そうしたことから、ゼミに関する設問や友人に関する設問が比較的高評価となっています。このようなことから、就職関連であったり、資格関連の周知がしっかりなされ、そのような設問にも満足の評価を得ています。その反面、実習科目が多いことから学内での滞在時間が比較的長くかつ、帰りも遅い時間になることが多いことから、学食やアクセス面で不満足傾向が出ています。しかし、今後社会に出て組織人として働くにあたって、自ら改善すべきことはないのかを今一度振り返ってもらいたいと考えます。

### 【健康栄養学科】

健康栄養学科の学生においては、学科（養成施設）としての対応（専門科目の内容、先生方の学生への対応、国試験対策など）には満足している者が多いことが、集計結果やご意見からも伺えました。なお、当学科の卒業生からは、他学科と同様、「ATM設置」、「Wi-Fi設置」等のご意見を頂きました。

## 2. 学生生活面

### 【管財課から小田急バス・スクールバスについて】

- ・小田急バス運賃の無料化、公共交通機関のため無料化は難しいと思われまます。
- ・スクールバス運賃無料化は、小田急バスや、徒歩学生・生徒、自転車通学等の方々に不公平となるため、現在は難しいと思われまます。
- ・スクールバス増便は、バス時刻外にも待機中のバスにて運行中です。

### 【教務課から授業・補講について】

補講と補講が重なる場合に、教員によって対応が違うことについて意見がありました。

補講は、あらかじめ設けている補講日や、通常授業期間の5時間目、土曜日などで科目の担当者が日程を指定しています。通常の授業時間帯に実施する場合は、他の科目と同時間になることがないようにしていますが、補講日に実施する場合は、教員が決めた日程で実施をしているため、補講と補講が重なってしまうことがあります。その場合の対応方法については教員の裁量によることもありますので、相談してみてください。

授業形態等により対応も異なるため、配慮の方法を統一することは難しいですが、補講の日程を可能な限り多く設定することで、補講の重なりをできる限り少なくできるようにしていきます。

#### 【学生支援課から学生支援・窓口について】

学生支援課では、学生生活全般に関する質問や疑問に答えてきました。不安なことや悩み、授業や手続き等、自主的な活動を通して、自分らしく充実した学生生活を送りたいなど、皆さんの様々な想いを受け止めてきました。どこに行けば問題を解決できるか、情報を得られるのかなど、何かわからないことがあったときに、気軽に駆け込めるような場所として、皆さんの声を聞きながら、学生一人ひとりに対して真摯に向き合い、適切で丁寧な対応を心掛け、安心して学生生活が過ごせるようにサポートしていきます。

学生の皆さんのためのよりよい水先案内人になれるよう、努力していきます。

#### 【進路総合センターから就職支援について】

当センターでは、「自立を促す面倒見」という支援の共通認識を持って取り組んでいます。対応者（職員、カウンセラー）によって支援に大きな差が出ることを防ぐようそれぞれが自己研鑽し相互にチェックしていくことを改めて確認します。また、システム他のハード面からも、より学生が当センターを利用しやすい環境を整えていきます。

アンケートⅢ「本学での学生支援について」の⑤「就職活動や資格取得のサポート」集計結果の「とても満足している」と「満足している」の項に関して、人文学部、人間健康学部ともに、前年比でマイナスの評価となっている点を真摯に受け止め、その原因と対策を検討していきます。

#### 【学修支援センターから】

学修支援センターは、本学の「ティーラーメイド教育」の一環として、皆さんの学修・進路ニーズに対応した「学力」養成と資格・検定対策の支援を行います。

昨年度、皆さんから「英語が苦手」との声をよく聞きました。そこで、今年度より、英語の指導員を増員し、英語の学修支援サービスを補強します。英検・TOEICの対策も充実させますので、レベルアップを図りたい方は、当センターのサービスをご利用ください。ちなみに昨年度、当センターで「英検・TOEIC」講座を受けた学生は、飛躍的にスコアが上がりまし

た。

英語以外にも、各種教科の学修や資格・検定対策の講座を用意しています。学修相談も歓迎しています。当センターでは、学生の状況に合った「学びのきっかけ」づくりを支援します。

講座スケジュールや参加方法などは、「KOMAJO ポータル」で随時案内します。

当センターは、皆さんの学修の「コーチ」であり、「ナビゲーター」でもあります。どうぞ、気軽に参加し、進路実現に向けた「学び」を進めてください。

#### 【図書館から】

##### 1. 「図書館の蔵書数や各種資料の充実度と利便性」について

アンケート結果において

【人文学部】では、とても満足している 23.1%、満足している 50.9%、あまり満足していない 13.0%、全く満足していない 3.7%、よくわからない 9.3%、【人間健康学部】では、とても満足している 10.1%、満足している 51.9%、あまり満足していない 12.7%、全く満足していない 0.0%、よくわからない 25.3%との結果で、【人文学部】では 74.0%、【人間健康学部】では 62.0%の満足度であり、両学部において約 60～75%の満足度が得られました。今後も学生が目線に立ち、さらに環境を整え、利用しやすい図書館に努めていきます。

##### 2. 「本学の学生支援について感じたことや意見等」について

【人間健康学部】では、「図書館の文庫本の表紙が全て取ってあるが、全部同じような本に見える。表紙は取らない方が、良いと思った」との意見が寄せられました。

現在、図書館では限りある書架スペースを有効利用する為に新着図書以外は、表紙を外しております。全て表紙を付けて配架してしまうとスペースに余裕がなくなり配架が出来なくなることが想定されますが、何らかの方法を模索したいと思います。

更に【人間健康学部】では、「5. もっと国家試験に対してサポートして欲しい。もう少し図書館の開いている時間を長くするなど」との意見が寄せられました。遅い時間となった場合、路線バスの本数が減ります。利用時間の中で、効果的な学習をしていただけるようお願いいたします。

今後とも図書館利用者の利便性を図り、快適な環境を整えるように努めていきます。